

# アジア好利回り リート・ファンド 【運用報告書(全体版)】

第17作成期 (2019年9月13日から2020年3月12日まで)

第 97 期 / 第 98 期 / 第 99 期  
決算日2019年10月15日 決算日2019年11月12日 決算日2019年12月12日

第 100 期 / 第 101 期 / 第 102 期  
決算日2020年1月14日 決算日2020年2月12日 決算日2020年3月12日

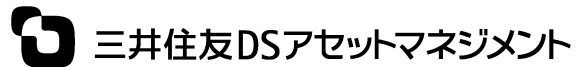
## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	2011年9月30日から2025年9月12日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として、日本を除くアジア各国・地域（オセアニアを含みます。）の取引所に上場している不動産投資信託（リート）等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス) 日本を除くアジア各国・地域の取引所に上場している不動産投資信託 マネー・マーケット・マザーファンド 円貨建の短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として、日本を除くアジア各国・地域（オセアニアを含みます。）の取引所に上場している不動産投資信託（リート）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■毎月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として、日本を除くアジア各国・地域（オセアニアを含みます。）の取引所に上場している不動産投資信託（リート）等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

## アジア好利回りリート・ファンド

### ■ 最近 5 作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入 比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
		(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
第13 作成期		円	円	%	%	%	百万円
	73期 (2017年10月12日)	7,731	130	0.7	0.0	98.6	190,301
	74期 (2017年11月13日)	7,971	130	4.8	0.0	98.9	199,725
	75期 (2017年12月12日)	7,921	130	1.0	0.0	98.3	210,869
	76期 (2018年1月12日)	7,896	90	0.8	0.0	94.4	225,772
	77期 (2018年2月13日)	7,189	90	△ 7.8	0.0	95.5	206,758
第14 作成期	78期 (2018年3月12日)	7,149	90	0.7	0.0	96.8	205,594
	79期 (2018年4月12日)	7,145	90	1.2	0.0	98.3	205,325
	80期 (2018年5月14日)	7,138	90	1.2	0.0	99.1	203,086
	81期 (2018年6月12日)	7,124	90	1.1	0.0	99.3	200,670
	82期 (2018年7月12日)	7,093	90	0.8	0.0	98.7	198,030
	83期 (2018年8月13日)	7,005	90	0.0	0.0	98.7	192,262
第15 作成期	84期 (2018年9月12日)	6,903	90	△ 0.2	0.0	99.0	189,013
	85期 (2018年10月12日)	6,606	60	△ 3.4	0.0	98.0	180,462
	86期 (2018年11月12日)	6,760	60	3.2	0.0	99.0	180,082
	87期 (2018年12月12日)	6,864	60	2.4	0.0	98.1	178,115
	88期 (2019年1月15日)	6,707	60	△ 1.4	0.0	98.3	170,892
	89期 (2019年2月12日)	7,042	60	5.9	0.0	97.2	175,768
第16 作成期	90期 (2019年3月12日)	7,166	60	2.6	0.0	98.5	170,717
	91期 (2019年4月12日)	7,316	60	2.9	0.0	98.1	171,315
	92期 (2019年5月13日)	7,121	40	△ 2.1	0.0	97.0	165,204
	93期 (2019年6月12日)	7,367	40	4.0	0.0	97.4	164,459
	94期 (2019年7月12日)	7,630	40	4.1	0.0	98.2	163,653
	95期 (2019年8月13日)	7,118	40	△ 6.2	0.0	98.3	150,996
第17 作成期	96期 (2019年9月12日)	7,181	40	1.4	0.0	98.0	152,439
	97期 (2019年10月15日)	7,271	40	1.8	0.0	98.1	154,483
	98期 (2019年11月12日)	7,216	40	△ 0.2	0.0	96.7	152,658
	99期 (2019年12月12日)	7,183	40	0.1	0.0	98.2	152,650
	100期 (2020年1月14日)	7,480	40	4.7	0.0	97.6	158,473
	101期 (2020年2月12日)	7,412	40	△ 0.4	0.0	97.9	154,218
	102期 (2020年3月12日)	6,566	40	△ 10.9	0.0	98.1	135,355

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債券組入 比 率	投資信託 証券組入 比 率
		円	騰 落 率		
第97期	(期 首) 2019年9月12日	7,181	—	0.0	98.0
	9月末	7,219	0.5	0.0	96.3
	(期 末) 2019年10月15日	7,311	1.8	0.0	98.1
第98期	(期 首) 2019年10月15日	7,271	—	0.0	98.1
	10月末	7,385	1.6	0.0	96.1
	(期 末) 2019年11月12日	7,256	△ 0.2	0.0	96.7
第99期	(期 首) 2019年11月12日	7,216	—	0.0	96.7
	11月末	7,319	1.4	0.0	97.8
	(期 末) 2019年12月12日	7,223	0.1	0.0	98.2
第100期	(期 首) 2019年12月12日	7,183	—	0.0	98.2
	12月末	7,340	2.2	0.0	96.9
	(期 末) 2020年1月14日	7,520	4.7	0.0	97.6
第101期	(期 首) 2020年1月14日	7,480	—	0.0	97.6
	1月末	7,375	△ 1.4	0.0	97.3
	(期 末) 2020年2月12日	7,452	△ 0.4	0.0	97.9
第102期	(期 首) 2020年2月12日	7,412	—	0.0	97.9
	2月末	7,228	△ 2.5	0.0	98.4
	(期 末) 2020年3月12日	6,606	△10.9	0.0	98.1

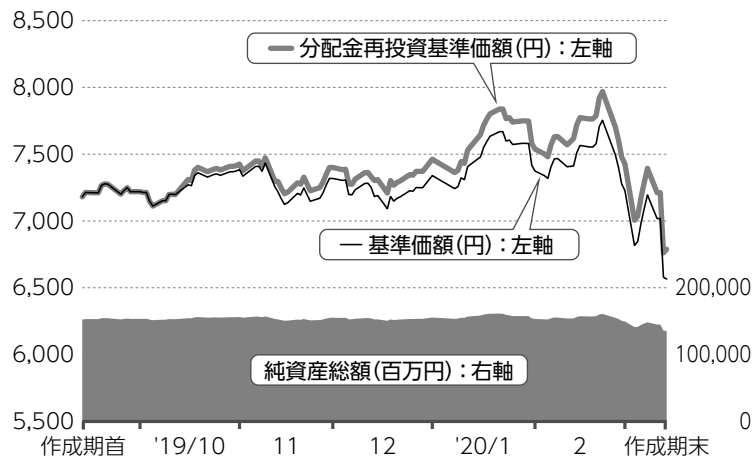
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2019年9月13日から2020年3月12日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首：7,181円

作成期末：6,806円

(当作成期分配金240円(税引前)込み)

騰落率：-5.5%

(分配金再投資ベース)

### 分配金再投資基準価額について

分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因(2019年9月13日から2020年3月12日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア各国・地域(オセアニアを含みます。)の取引所に上場している不動産投資信託(リート)等に投資しました。

なお、外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行っていません。

### 下落要因

- 香港の組入れ銘柄の価格が下落したこと
- アジア・オセアニア通貨が対円で下落したこと

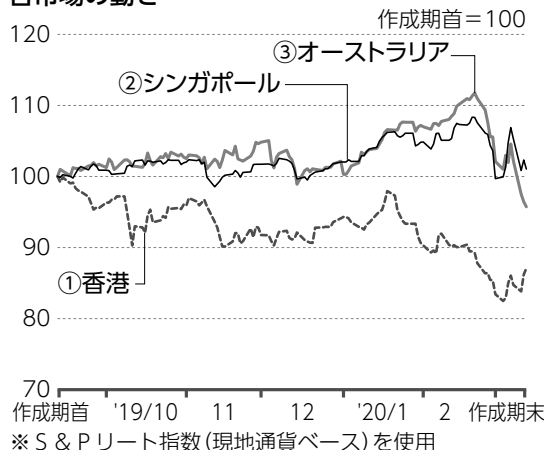
詳しくは後掲の「投資環境について」をご参照ください。

投資環境について(2019年9月13日から2020年3月12日まで)

アジア・オセアニアリート市場はまちまちな展開となりました。シンガポールは小幅上昇、香港、オーストラリアは下落しました。為替市場では、主なアジア通貨が対円で下落しました。

アジア・オセアニアリート市場

各市場の動き



①香港リート市場(12.9%下落)

作成期首より、香港情勢の混乱を嫌気して下落基調で推移しました。12月中旬には調整一服感が出て上昇に転じ、2020年1月中旬まで上昇しました。1月下旬以降は新型コロナウイルスの感染が拡大したことから景気への打撃が懸念され、作成期末まで軟調な展開でした。

②シンガポールリート市場(1.1%上昇)

作成期首から年末にかけて、相対的に利回りの高い資産への根強い需要を背景に、底堅い動きとなりました。2020年1月以降も、新型コロナ

ウイルスの感染拡大や中東情勢の緊迫化などから長期金利が低下するなか、リーートのディフェンシブ性(景気変動の影響を受けにくい性質)が選好され、堅調に推移しました。2月下旬に新型コロナウイルスへの警戒感が本格的に高まると下落に転じましたが、政府が財政支援などの迅速かつ厳格な対応策を一早く打ち出したこともあり、他市場と比較して小幅な下落にとどまり、作成期を通してみると小幅上昇となりました。

③オーストラリアリート市場(4.3%下落)

作成期首からおおむね堅調に推移しましたが、12月には、F R B(米連邦準備制度理事会)による利下げ期待の後退などを背景に、軟調な展開となりました。2020年1月以降は、長期化する

## アジア好利回りリート・ファンド

森林火災による経済への下押し圧力を背景にRBA（オーストラリア準備銀行）の利下げ期待が高まり、長期金利が切り下がったことや、リート各社の決算が好感されたことを受け、2月中旬までリート市場は力強く上昇しました。2月下旬以降は、新型コロナウイルスへの警戒感が本格的に高まると、利益確定の売りを伴い、大幅に下落しました。

### 為替市場

	作成期首 (円)	作成期末 (円)	円安/円高
香港ドル・円	13.80	13.46	円高
シンガポールドル・円	78.46	74.96	円高
オーストラリアドル・円	74.27	67.72	円高

アジア・オセアニア通貨は、米中貿易協議の進展などを背景に作成期首から総じて堅調に推移しました。しかし、2020年1月以降の新型コロナウイルスの感染拡大を背景にリスク回避姿勢が強まり、作成期末にかけて安全通貨とされる円に対して大幅に下落する展開となりました。

### ポートフォリオについて(2019年9月13日から2020年3月12日まで)

#### 当ファンド

- ①「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedgedクラス)」
- ②「マネー・マーケット・マザーファンド」  
を主要投資対象としました。

#### ① SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedged クラス)

(作成期末組入比率：98.1%)

市場動向を注視しながら、個別銘柄の流動性に配慮して慎重に売買を進め、組入比率は高位を保ちました。作成期末の組入銘柄数は34銘柄で、銘柄分散効果でパフォーマンスの安定を図りつつ、個別銘柄を総合的に勘案したウェイト付けで、比較的高いパフォーマンスの享受を狙いました。

### ●国別投資行動

#### (香港)

香港内で長引くデモ活動や、内外での新型コロナウイルスの感染動向を注視しました。最大手の商業施設リートについては、日用品販売を主力とするテナントが多いことからデモによる業績へのインパクトは比較的小さく、特別配当により高水準の分配金成長が中長期的に維持される方針で安定的な業況が見込まれること、また優れたガバナンス(企業統治)体制を評価して保有しました。

#### (シンガポール)

シンガポール内外の景気動向および新型コロナウイルスの影響を注視しながら選別的な投資を行いました。アジアにおけるEコマース(電子商取引)需要の拡大を取り込む産業施設リートを引き続き高く評価しました。

一方で、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を注視し、ホテルリートを全売しました。

#### (オーストラリア)

銘柄ごとの事業環境を勘案して、選別的な投資を行いました。世界的なEコマース市場の需要拡大が見込める物流施設事業や活発な不動産売買の恩恵を受けるファンド事業を持つ、成長性が相対的に高い銘柄を評価しました。また、RBAの利下げの可能性を見越して金利低下に敏感な銘柄を機動的に売買して、積極的なファンド収益の向上を図りました。

#### (その他)

マクロ経済や金融政策の動向、個別リートの中期的な成長性などに基づき、マレーシア、タイへの投資を引き続き行いました。

## アジア好利回りリート・ファンド

### ●組入上位10銘柄ご案内

(基準日：2020年3月12日)

	銘柄名 国・地域	当作成期末 組入比率	コメント
1	LINK REIT 香港	9.15%	国内ショッピングセンターを多数保有するアジア・オセアニア最大級の商業施設リート
2	MAPLETREE LOGISTICS TRUS シンガポール	8.85%	日本や中国を含むアジア・オセアニア地域で幅広く物流施設を運営する産業施設リート
3	GOODMAN GROUP オーストラリア	8.63%	アジア等グローバルにEコマース向け物流施設等の開発・保有に特化した産業施設リート
4	KEPPEL DC REIT シンガポール	7.02%	A I時代のインフラと言われるデータセンターのみを投資対象とするアジア唯一のリート
5	ASCENDAS REAL ESTATE INVESTMENT TR シンガポール	6.38%	研究開発施設が集積するビジネスパーク、物流施設等を保有する国内最大手の産業施設リート
6	MAPLETREE INDUSTRIAL UNITS TRUST シンガポール	5.10%	シンガポールの工業施設に加えて米国でデータセンター投資に着手した産業施設リート
7	MIRVAC GROUP STAPLED UNITS オーストラリア	4.58%	国内都市部の高級住宅開発に強みがあり、オフィス、商業施設などにも投資する総合型リート
8	CAPITALAND MALL TRUST シンガポール	4.47%	国内有数のショッピングモールを多数保有するシンガポールを代表する商業施設リート
9	CHARTER HALL GROUP STAPLED UNITS オーストラリア	4.05%	ファンドマネジメントおよび、商業施設や住宅等の開発・保有を行うリート
10	CAPITALAND COMMERCIAL TR シンガポール	3.60%	国内のグレードの高いオフィスビルを保有するシンガポールを代表するオフィスリート

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

### ②マネー・マーケット・マザーファンド

(作成期末組入比率：0.0%)

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

### ベンチマークとの差異について(2019年9月13日から2020年3月12日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。



分配金について(2019年9月13日から2020年3月12日まで)

当作成期の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、それぞれ40円といたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
当期分配金	40	40	40	40	40	40
(対基準価額比率)	(0.547%)	(0.551%)	(0.554%)	(0.532%)	(0.537%)	(0.606%)
当期の収益	21	15	15	21	15	15
当期の収益以外	18	24	24	18	24	24
翌期繰越分配対象額	1,085	1,061	1,038	1,020	996	973

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedgedクラス)」および「マネー・マーケット・マザーファンド」を主要投資対象として、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行う方針です。引き続き「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedgedクラス)」の高位組入れを維持します。

### SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedged クラス)

引き続き個別銘柄のファンダメンタルズ(基礎的条件)を重視した投資を継続します。金融市場では新型コロナウイルスの感染拡大に伴う景気減速への懸念が強まっており、各国は金融・財政政策の実施を積極化していくとみられます。こうした環境のもとでは、リート価格の変動性が高まる可能性はありますが、金融緩和に伴う低金利環境の長期化が予想されることは支援材料です。世界的に金融緩和が進み、リスク資産の価格変動性が高

## アジア好利回りリート・ファンド

まっている環境下、アジア・オセアニア・リートの相対的な利回りの高さ、業績の安定性などのディフェンシブ性に対する信頼感は引き続き高いと考えます。

業績の安定性に留意しながら、アジア地域の中期的な成長を享受でき、配当利回りが魅力的な銘柄を中心に組み入れ、ファンドの基本コンセプトである、「収益の成長性に加え、配当利回り等のバリュエーション(投資価値

評価)に加え、E S G(環境・社会・ガバナンス)への取組みに着目した運用]を行います。

---

### マネー・マーケット・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。  
(2020年3月18日現在)

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

### シンガポール関連会社の100%子会社化について

シンガポールのUOB Asset Management Ltd.との合併会社であるUOB-SM Asset Management Pte. Ltd.につき、当社の100%子会社とし、社名をSumitomo Mitsui DS Asset Management(Singapore) Pte. Ltd.と変更しましたことをお知らせいたします。

(2020年3月9日)

■ 1万口当たりの費用明細(2019年9月13日から2020年3月12日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	41円	0.563%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数)
(投信会社)	(10)	(0.137)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(30)	(0.410)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.027	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(2)	(0.027)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	0	0.001	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	43	0.591	

期中の平均基準価額は7,311円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

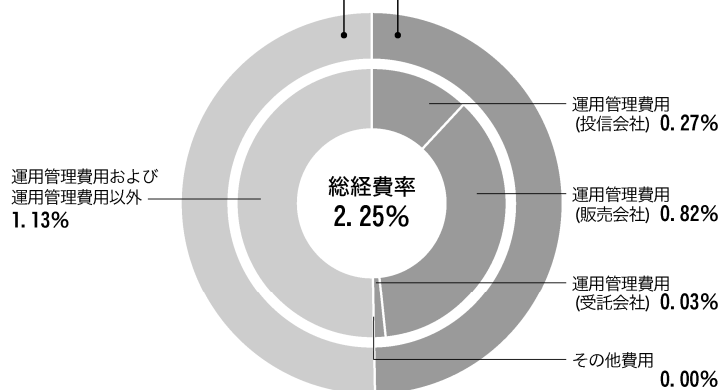
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「包括利益計算書」をご覧ください。

参考情報 総経費率 (年率換算)

■ 投資先ファンドの費用 1.13%      ■ 当ファンドの費用 1.12%



総経費率(■+■)	2.25%
■ 当ファンドの費用の比率	1.12%
■ 投資先ファンドの費用の比率	1.13%

## アジア好利回りリート・ファンド

- ※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- ※**2**の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
- ※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- ※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は2.25%です。

### ■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2019年9月13日から2020年3月12日まで）

#### 投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
		口	千円	口	千円
国内	SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)	2,109,911,552 (1,565,762,426)	3,745,200 (2,836,715)	7,494,982,747	13,687,115
合 計		2,109,911,552 (1,565,762,426)	3,745,200 (2,836,715)	7,494,982,747	13,687,115

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※( )内は分割・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

### ■ 利害関係人との取引状況等（2019年9月13日から2020年3月12日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年9月13日から2020年3月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## アジア好利回りリート・ファンド

### ■ 組入れ資産の明細(2020年3月12日現在)

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	作成期首	作成期末		
	口数	口数	評価額	組入比率
SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)	□ 83,676,650,443	□ 79,857,341,674	千円 132,842,687	% 98.1
合計	83,676,650,443	79,857,341,674	132,842,687	98.1

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

#### (2) 親投資信託残高

種類	作成期首	作成期末	
	口数	口数	評価額
マネー・マーケット・マザーファンド	千口 99	千口 99	千円 100

※マネー・マーケット・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は77,141千口です。

※単位未満は切捨て。

### ■ 投資信託財産の構成

(2020年3月12日現在)

項目	作成期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 132,842,687	% 97.0
マネー・マーケット・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	4,069,110	3.0
投資信託財産総額	136,911,897	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## アジア好利回りリート・ファンド

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年10月15日) (2019年11月12日) (2019年12月12日) (2020年1月14日) (2020年2月12日) (2020年3月12日)

項 目	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末	第102期末
<b>(A) 資 産</b>	<b>156,096,589,603円</b>	<b>154,369,836,224円</b>	<b>154,198,684,768円</b>	<b>159,952,731,456円</b>	<b>155,900,309,635円</b>	<b>136,911,897,677円</b>
コール・ローン等	4,489,406,771	6,775,214,078	4,305,246,395	5,350,323,282	4,992,369,119	4,069,109,713
投資信託受益証券(評価額)	151,607,082,712	147,594,522,026	149,893,338,253	154,602,308,074	150,907,840,416	132,842,687,874
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	100,120	100,120	100,120	100,100	100,100	100,090
<b>(B) 負 債</b>	<b>1,613,548,312</b>	<b>1,710,905,676</b>	<b>1,547,978,044</b>	<b>1,479,580,335</b>	<b>1,681,601,552</b>	<b>1,556,703,451</b>
未払収益分配金	849,841,634	846,179,958	850,028,045	847,435,669	832,284,678	824,539,102
未払解約金	608,558,914	729,410,097	555,487,877	474,495,574	708,030,932	595,329,554
未払信託報酬	154,982,313	135,037,011	142,153,866	157,421,150	140,983,051	136,561,517
未払利息	9,101	-	1,769	12,459	14,908	12,151
その他未払費用	156,350	278,610	306,487	215,483	287,983	261,127
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>154,483,041,291</b>	<b>152,658,930,548</b>	<b>152,650,706,724</b>	<b>158,473,151,121</b>	<b>154,218,708,083</b>	<b>135,355,194,226</b>
元 本	212,460,408,734	211,544,989,629	212,507,011,359	211,858,917,468	208,071,169,542	206,134,775,683
次期繰越損益金	△ 57,977,367,443	△ 58,886,059,081	△ 59,856,304,635	△ 53,385,766,347	△ 53,852,461,459	△ 70,779,581,457
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>212,460,408,734口</b>	<b>211,544,989,629口</b>	<b>212,507,011,359口</b>	<b>211,858,917,468口</b>	<b>208,071,169,542口</b>	<b>206,134,775,683口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>7,271円</b>	<b>7,216円</b>	<b>7,183円</b>	<b>7,480円</b>	<b>7,412円</b>	<b>6,566円</b>

※当作成期における作成期首元本額212,271,476,078円、作成期中追加設定元本額25,583,199,782円、作成期中一部解約元本額31,719,900,177円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## アジア好利回りリート・ファンド

### ■ 損益の状況

(自2019年9月13日 至2019年10月15日) (自2019年10月16日 至2019年11月12日) (自2019年11月13日 至2019年12月12日) (自2019年12月13日 至2020年1月14日) (自2020年1月15日 至2020年2月12日) (自2020年2月13日 至2020年3月12日)

項 目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
(A) 配 当 等 取 益	474,282,809円	468,664,875円	477,501,179円	472,384,046円	461,526,307円	463,485,741円
受 取 配 当 金	474,576,796	468,874,274	477,761,499	472,700,657	461,806,348	463,702,152
支 払 利 息	△ 293,987	△ 209,399	△ 260,320	△ 316,611	△ 280,041	△ 216,411
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,415,045,378	△ 682,870,099	△ 203,195,993	6,798,965,619	△ 922,553,052	△16,897,236,010
売 買 益	2,875,464,956	520,454	12,126,941	7,081,857,022	33,911,845	131,004,704
売 買 損	△ 460,419,578	△ 683,390,553	△ 215,322,934	△ 282,891,403	△ 956,464,897	△17,028,240,714
(C) 信 託 報 酬 等	△ 155,200,029	△ 135,287,604	△ 142,338,093	△ 157,636,633	△ 141,196,334	△ 136,792,710
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	2,734,128,158	△ 349,492,828	131,967,093	7,113,713,032	△ 602,223,079	△16,570,542,979
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	4,428,907,303	6,181,213,474	4,882,889,497	4,097,224,690	9,993,923,989	8,323,958,784
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△64,290,561,270	△63,871,599,769	△64,021,133,180	△63,749,268,400	△62,411,877,691	△61,708,458,160
( 配 当 等 相 当 額 )	( 5,068,118,911)	( 5,375,149,340)	( 5,866,024,289)	( 6,091,805,502)	( 6,285,657,891)	( 6,511,506,755)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△69,358,680,181)	(△69,246,749,109)	(△69,887,157,469)	(△69,841,073,902)	(△68,697,535,582)	(△68,219,964,915)
(G) 計 ( D + E + F )	△57,127,525,809	△58,039,879,123	△59,006,276,590	△52,538,330,678	△53,020,176,781	△69,955,042,355
(H) 収 益 分 配 金	△ 849,841,634	△ 846,179,958	△ 850,028,045	△ 847,435,669	△ 832,284,678	△ 824,539,102
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△57,977,367,443	△58,886,059,081	△59,856,304,635	△53,385,766,347	△53,852,461,459	△70,779,581,457
追 加 信 託 差 損 益 金	△64,290,561,270	△63,871,599,769	△64,021,133,180	△63,749,268,400	△62,411,877,691	△61,708,458,160
( 配 当 等 相 当 額 )	( 5,068,118,911)	( 5,375,149,340)	( 5,866,024,289)	( 6,091,805,502)	( 6,285,657,891)	( 6,511,506,755)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△69,358,680,181)	(△69,246,749,109)	(△69,887,157,469)	(△69,841,073,902)	(△68,697,535,582)	(△68,219,964,915)
分 配 準 備 積 立 金	17,990,209,078	17,084,016,709	16,193,874,672	15,523,960,468	14,450,907,956	13,547,730,253
繰 越 損 益 金	△11,677,015,251	△12,098,476,021	△12,029,046,127	△5,160,458,415	△5,891,491,724	△22,618,853,550

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
(a) 費用控除後の配当等収益	448,814,572円	333,377,346円	335,163,166円	462,137,743円	320,330,048円	326,693,104円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益	—	—	—	—	—	—
(c) 収益調整金	5,068,118,911	5,375,149,340	5,866,024,289	6,091,805,502	6,285,657,891	6,511,506,755
(d) 分配準備積立金	18,391,236,140	17,596,819,321	16,708,739,551	15,909,258,394	14,962,862,586	14,045,576,251
(e) 分配可能額 (a+b+c+d)	23,908,169,623	23,305,346,007	22,909,927,006	22,463,201,639	21,568,850,525	20,883,776,110
1万口当たり分配可能額	1,125	1,101	1,078	1,060	1,036	1,013
(f) 分配金額	849,841,634	846,179,958	850,028,045	847,435,669	832,284,678	824,539,102
1万口当たり分配金額(税引前)	40	40	40	40	40	40

### ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
	40円	40円	40円	40円	40円	40円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## アジア好利回りリート・ファンド

### ■ 組入れ投資信託証券の内容

#### 投資信託証券の概要

ファンド名	SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)
形態	ケイマン籍外国投資信託 (円建て)
主要投資対象	日本を除くアジア各国・地域の取引所に上場している不動産投資信託
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本を除くアジア各国・地域の取引所に上場している不動産投資信託に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。</li> <li>※オセアニア地域の取引所に上場している不動産投資信託にも投資を行います。</li> <li>・収益の成長性に加え、配当利回り等のバリュエーションに着目した運用を行います。</li> <li>・原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
ベンチマーク	ありません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有価証券の空売りは純資産総額の範囲内で行います。</li> <li>・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</li> </ul>
決算日	毎年2月の最終営業日
分配方針	毎月28日(休業日の場合は前営業日)に分配を行う方針です。
運用報酬等	<p>純資産総額に対して年0.7%程度*</p> <p>*年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p>
管理およびその他の費用	<p>ファンドの設立、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	解約時に0.3%
投資運用会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社
投資助言会社	Sumitomo Mitsui DS Asset Management(Singapore) Pte. Ltd.
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)」をシェアクラスとして含む「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。



■ 包括利益計算書(2018年3月1日から2019年2月28日まで)

(単位：円)

利益	
配当収入、純実現利益および損益を通じて公正価値で測定する金融資産・負債 ならびに外貨換算にかかる未実現評価益の純変動	29,228,041,466
費用	
投資運用報酬	1,049,782,298
取引費用	246,737,124
管理事務代行報酬	151,173,939
保管報酬	105,733,330
名義書換代行報酬	19,673,062
受託報酬	18,896,744
専門家報酬	5,238,684
支払利息	2,027,012
その他費用	1,264,040
登録手数料	622,958
費用合計	<u>1,601,149,191</u>
営業利益	<u>27,626,892,275</u>
税引前利益	27,626,892,275
源泉徴収税	(705,054,251)
営業による償還可能受益証券保有者に帰属する純資産の増加	<u>26,921,838,024</u>

## アジア好利回りリート・ファンド

### ■ 投資明細表(2019年2月28日現在)

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位：円)
普通株式 (97.2%)			
オーストラリア (29.0%)			
不動産投資信託 (29.0%)			
4,848,369	Charter Hall Education Trust	0.8	1,282,506,764
4,940,000	Charter Hall Group	2.0	3,442,921,753
4,424,731	Charter Hall Long Wale REIT Class REIT	0.9	1,559,424,724
5,955,991	Dexus	3.3	5,669,908,261
15,227,332	Goodman Group	9.0	15,436,588,174
16,837,832	Mirvac Group Class REIT	2.0	3,427,179,307
10,301,147	Rural Funds Group	1.1	1,827,473,696
33,870,503	Scentre Group	6.1	10,381,261,786
7,632,598	Stockland	1.2	2,115,718,897
22,895,652	Vicinity Centres	2.6	4,460,727,095
			49,603,710,457
オーストラリア合計			49,603,710,457
香港 (14.0%)			
不動産投資信託 (14.0%)			
16,490,000	Champion REIT	0.9	1,468,570,802
8,881,000	Fortune Real Estate Investment Trust	0.7	1,219,135,050
13,123,500	Link REIT	9.6	16,517,055,466
30,966,000	Sunlight Real Estate Investment Trust	1.5	2,573,340,857
29,510,000	Yuexiu Real Estate Investment Trust	1.3	2,222,175,323
			24,000,277,498
香港合計			24,000,277,498
マレーシア (1.2%)			
不動産投資信託 (1.2%)			

## アジア好利回りリート・ファンド

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位：円)
42,850,200	Sunway Real Estate Investment Trust Class REIT マレーシア合計	1.2	2,064,514,319
	ニュージーランド (0.2%) 不動産投資信託 (0.2%)		2,064,514,319
3,033,304	Kiwi Property Group, Ltd. ニュージーランド合計	0.2	324,469,615
	シンガポール (50.8%) 不動産投資信託 (50.8%)		324,469,615
14,259,000	Ascendas Hospitality Trust	0.6	1,016,152,070
17,453,700	Ascendas India Trust	0.9	1,624,873,217
20,900,984	Ascendas Real Estate Investment Trust	2.8	4,821,456,956
51,733,902	CapitaLand Commercial Trust, Ltd.	4.8	8,268,571,682
71,862,800	CapitaLand Mall Trust	8.3	14,209,176,410
20,712,700	CapitaLand Retail China Trust	1.5	2,491,397,937
20,190,200	CDL Hospitality Trusts	1.5	2,628,156,590
21,538,000	ESR-REIT	0.6	958,192,268
21,034,000	First Real Estate Investment Trust	1.1	1,871,540,178
15,423,500	Frasers Centrepoint Trust Class REIT	1.7	2,909,859,031
37,311,100	Frasers Logistics & Industrial Trust Class REIT	2.0	3,381,304,387
58,356,596	Keppel DC REIT Class REIT	4.1	7,067,418,608
54,112,200	Keppel REIT	3.2	5,483,449,300
52,836,900	Lippo Malls Indonesia Retail Trust	0.5	892,369,504
37,229,163	Mapletree Commercial Trust	3.2	5,428,877,830
27,535,300	Mapletree Industrial Trust	2.7	4,537,047,624
70,702,420	Mapletree Logistics Trust	4.7	8,038,349,690
43,256,000	Mapletree North Asia Commercial Trust	2.6	4,454,612,171
34,924,900	OUE Hospitality Trust	1.2	2,071,672,960
3,872,500	Parkway Life Real Estate Investment Trust	0.5	915,644,420

## アジア好利回りリート・ファンド

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位：円)
22,500,000	Sasseur Real Estate Investment Trust	0.8	1,436,606,246
16,300,000	Suntec Real Estate Investment Trust	1.5	2,591,781,844
			<u>87,098,510,923</u>
	シンガポール合計		<u>87,098,510,923</u>
	タイ (2.0%)		
	不動産投資信託 (2.0%)		
13,750,000	CPN Retail Growth Leasehold REIT	0.8	1,311,465,225
16,900,000	Frasers Property Thailand Industrial Freehold & Leasehold REIT	0.4	716,404,438
18,916,000	IMPACT Growth Real Estate Investment Trust	0.8	1,389,898,088
			<u>3,417,767,751</u>
	タイ合計		<u>3,417,767,751</u>
	普通株式合計 (取得原価：147,116,096,477円)		<u>166,509,250,563</u>

# マネー・マーケット・マザーファンド

第9期 (2019年3月2日から2020年3月2日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2011年5月31日)
運用方針	主として、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## ■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債券組入 比 率	純 資 産 総 額
	円	期 中 騰 落 率 %		
5期 (2016年3月1日)	10,039	0.0	84.3	93
6期 (2017年3月1日)	10,033	△0.1	66.0	137
7期 (2018年3月1日)	10,025	△0.1	76.9	90
8期 (2019年3月1日)	10,019	△0.1	74.1	89
9期 (2020年3月2日)	10,013	△0.1	80.6	77

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移

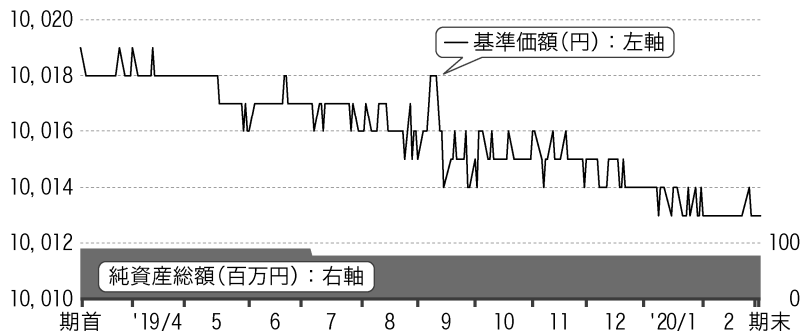
年 月 日	基 準 価 額		債券組入 比 率
	円	騰 落 率 %	
(期 首) 2019年3月1日	10,019	-	74.1
3月末	10,019	0.0	74.1
4月末	10,018	△0.0	74.0
5月末	10,016	△0.0	75.3
6月末	10,017	△0.0	75.2
7月末	10,016	△0.0	87.2
8月末	10,015	△0.0	84.8
9月末	10,015	△0.0	84.7
10月末	10,016	△0.0	84.6
11月末	10,015	△0.0	84.5
12月末	10,014	△0.0	80.8
2020年1月末	10,013	△0.1	80.7
2月末	10,013	△0.1	80.7
(期 末) 2020年3月2日	10,013	△0.1	80.6

※騰落率は期首比です。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について (2019年3月2日から2020年3月2日まで)

#### 基準価額等の推移



期首	10,019円
期末	10,013円
騰落率	-0.1%

### ▶ 基準価額の主な変動要因 (2019年3月2日から2020年3月2日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

#### 下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

### ▶ 投資環境について (2019年3月2日から2020年3月2日まで)

当期の短期金利は小幅に低下しました。

物価上昇率の伸びが徐々に鈍化したことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利の付利を継続しました。短期国債利回りは、一時的な需給要因から上下に振れる局面もありましたが、日銀が需給動向を勘案しながら短期国債の買入れ額を調整したことから、概ねレンジ推移となりました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、日銀当座預金付利金利である-0.10%程度を上限に、マイナ

ス圏で推移しました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.180%に対し、期末は-0.199%と小幅に低下しました。

---

▶ **ポートフォリオについて(2019年3月2日から2020年3月2日まで)**

---

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを継続しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

---

▶ **ベンチマークとの差異について(2019年3月2日から2020年3月2日まで)**

---

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## **② 今後の運用方針**

2%の物価安定目標が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細(2019年3月2日から2020年3月2日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.007% (0.007)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.007	

期中の平均基準価額は10,015円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2019年3月2日から2020年3月2日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	特殊債券	千円 45,559	千円 － (49,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※( )内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等(2019年3月2日から2020年3月2日まで)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
			%			%
公社債	百万円 45	百万円 17	% 37.8	百万円 －	百万円 －	% －

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMBC日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
(2019年3月2日から2020年3月2日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。



■ 組入れ資産の明細 (2020年3月2日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 ( 除 く 金 融 債 )	62,000 (62,000)	62,289 (62,289)	80.6 (80.6)	— (—)	— (—)	— (—)	80.6 (80.6)
合 計	62,000 (62,000)	62,289 (62,289)	80.6 (80.6)	— (—)	— (—)	— (—)	80.6 (80.6)

※( )内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
特 殊 債 券 ( 除 く 金 融 債 )	第5回 政府保証阪神高速道路債券	1.3	17,000	17,010	2020/3/18
	第107回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	17,000	17,056	2020/5/29
	第115回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.0	14,000	14,075	2020/8/31
	第124回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	14,000	14,147	2020/12/28
	合 計	—	62,000	62,289	—

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2020年3月2日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	62,289	80.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	14,950	19.4
投 資 信 託 財 産 総 額	77,239	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年3月2日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	77,239,206円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	14,699,258
公 社 債 ( 評 価 額 )	62,289,630
未 収 利 息	213,957
前 払 費 用	36,361
(B) 負 債	195
そ の 他 未 払 費 用	195
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	77,239,011
元 本	77,141,454
次 期 繰 越 損 益 金	97,557
(D) 受 益 権 総 口 数	77,141,454口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	10,013円

※当期における期首元本額89,650,363円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額12,508,909円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

インド内需関連株式ファンド	119,759円
高成長インド・中型株式ファンド	17,711,132円
アジア好利回りリート・ファンド	99,971円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)	7,742,960円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)	1,337,053円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/3カ月決算型)	4,909,194円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/3カ月決算型)	1,456,790円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし)	14,208,735円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(原定為替ヘッジ)	1,237,272円
三井住友・ニュー・アジア・ファンド	369,177円
アジア好利回りリート・ファンド(年1回決算型)	997円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし/年2回決算型)	1,187,376円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(原定為替ヘッジ/年2回決算型)	389,132円
日興フィデリティ世界企業債券ファンド(為替ヘッジあり)	209,527円
日興フィデリティ世界企業債券ファンド(為替ヘッジなし)	179,593円
日興エドモン・ドゥ・ロスタヤルド・グローバルCBファンド(為替ヘッジあり)	289,352円
日興エドモン・ドゥ・ロスタヤルド・グローバルCBファンド(為替ヘッジなし)	419,066円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	4,140,881円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	11,065,647円
グローイング・フロンティア株式ファンド	2,185,185円
高成長インド・中型株式ファンド(年1回決算型)	7,882,655円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2019年3月2日 至2020年3月2日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	810,106円
受 取 利 息	820,497
支 払 利 息	△ 10,391
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 851,460
売	△ 851,460
買	△ 851,460
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,757
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	△ 47,111
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	165,922
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 21,254
(G) 計 ( D + E + F )	97,557
次 期 繰 越 損 益 金 ( G )	97,557

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ■ お知らせ

### <約款変更について>

- ・委託会社の合併に伴う商号変更および電子公告アドレスの変更に対応するため、所要の変更を行いました。(適用日：2019年4月1日)